

柿葺落四月大歌舞伎

一人集い 街とつながる

松本幸四郎改め一代目 松本白鸚 襲名披露

市川染五郎改め十代目 松本幸四郎

薫名披露

オンリーワン創造劇場

御園座

昼の部 (午前11時開演)

夜の部 (午後4時開演)

寿曾我対面

曾我十郎と五郎が、父の仇である工藤祐経を討ち果たした曾我兄弟の仇討ちは、謡曲をはじめ淨瑠璃、歌舞伎などに取り上げられています。将軍源頼朝の信任が厚い祐経の館で、卷狩の総奉行就任の祝宴が執り行われる中、曾我十郎、五郎の兄弟が対面を願い出ます。実はこの兄弟は十八年前、祐経が闇討ちした河津三郎の遺児でした。仇を討とうと逸る五郎は祐経に詰め寄りますが、十郎が押し止めます。祐経は兄弟に卷狩りの通行切手を与え再会を約束するのでした。歌舞伎の様式美が見事に凝縮された柿葺落に相応しい一幕です。

襲名披露口上

祐経の俳優が舞台に並びお祝いを述べ、この度薫名披露する新白鸚、新幸四郎が皆様にご挨拶を申し上げる一幕です。

籠釣瓶花街醉醒

江戸の世話狂言「縁切物」の代表作で、あばた面のぶ男が全盛の花魁を一目見たことで身も心も奪われてしまい、身請けの直前に愛想尽かしをされて女を殺害するという筋で、名台詞や様式美など見どころが多く、女が男に対して抱く複雑な感情など、近代的要素を多分に持ち合わせた、現代のお客様にも通じる世話物狂言です。序幕の豪華な花魁道中に見とれている次郎左衛門の方をハツ橋が振り返つて微笑する「見染」は女方芸の美的極致といえるでしょう。満座の中で愛想尽かしをされた次郎左衛門の「縁切り」での悲劇味が、妖刀「籠釣瓶」でハツ橋を斬る「殺し場」へと続く、哀感あふれる名作です。

勧進帳

歌舞伎十八番の中でも屈指の人気を誇る作品です。兄・頼朝にうとまれて、都から東北へ逃げ落ちる義経とその家来たる。立ちはだかる安宅の関守は頼朝の命を受けた富樫。一触即発の緊張感は乾坤一擲の弁慶の踏ん張りを経て、一期一会の情けへと昇華してゆく。弁慶は全身全霊を投げうつて主君・義経を守ります。勧進帳の読み上げ、山伏問答、呼び止めと双方の詰め寄り、富樫から疑つた詫びの印として酒をすすめられての弁慶の延年の舞、飛び六方での花道の引っ込みと見せ場は続き、息もつかせぬ展開に心打たれる名作です。

廓文章

年の大坂新町の廓。吉田屋の格子先へ紙衣を着た男が訪ねてきます。新町で全盛の太夫、扇屋夕霧の恋人で、つい先頃まで夜ごと豪遊していた藤屋伊左衛門の変わり果てた姿です。伊左衛門は放蕩のため勘当され今は落ちぶれ果てています。昔の恩を忘れぬ喜左衛門は、夕霧を伊左衛門に会わせますが、伊左衛門はすねて見せます。夕霧は伊左衛門が顔を出さないので病になつたのではないかと心配していましたと話します。そこへ藤屋から勘当が許されたという知らせと共に夕霧身請けの千両箱が運び込まれ、一度に春が来たように浮き立つ吉田屋の座敷。恋模様を情緒たっぷりに、竹本と清元の掛け合いで描かれます。

(公演スケジュール)

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00	11 00		
夜の部 00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	

平成30年度 5月・6月の公演スケジュール

5月 3~27 (予定)	新劇場開場記念5月公演 スーパー歌舞伎II(セカンド) 『ワンピース』	6月 2~27 (予定)	新劇場開場記念6月公演 滝沢歌舞伎 2018
	S席20,000円 A席18,000円 B席10,000円 C席6,000円(予定)		